

#### 4) 中・長期的対策の設定

i) 短期的目標が達成された後には、年間患者発生数 100人以下、死亡数 0 を目標とし、流行的発生をなくし(elimination)、公衆衛生上問題とならないことを目標とする。

ii) 国内での発生あるいは海外からの持ち込みに際しても流行的発生とはならないことを目標とする。

iii) そのために

(1) 患者発生を正しく把握するため、診断基準として血清診断(IgM抗体の測定)を導入、

(2) 患者発生および死亡を全例報告とする、

(3) 麻疹ワクチン 2回接種(two doses) を導入。

海外では既に広く利用されているMMRワクチンあるいは現在開発中のMR(Measles-Rubella: 麻疹風疹混合)ワクチンを活用する。:達成

iv) 麻疹 eradication を目標にするかどうか、世界の状況と合わせ、さらに検討を続ける。→ WPROは、2012年を elimination の目標とした

#### 麻疹排除を目指して

——WHO基準

##### 1 ワクチン未使用に近い段階

予防接種率 低(70%以下)

定期的に麻疹流行

##### 2 制御段階

予防接種率 中～高

ときに麻疹流行が遮断、再流行まで徐々に感受性者が累積

##### 3 排除段階

免疫保有率 95%

感受性者の蓄積なし、患者が入国しても流行を起こさない